

日進市第1次環境基本計画
年次報告書<やわらか版>

令和6年度

(令和5年度実績)

「美しいまち日進クリーン作戦 530運動」

ごみのない清潔なまちを目指し、コースごとに分かれ、ごみの回収、清掃活動を行いました。(表紙写真)



「2024年のこどもたちへ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目次

環境基本計画について.....	2
水	4
緑	6
まち	8
ライフスタイル.....	10
コミュニティ.....	12
遊びと学び.....	14
市民意識調査から見た目標に対する達成状況.....	16

ハイライト

第2次日進市環境基本計画

環境基本計画について

2024年(R6年)の未来像(ビジョン)は？

水

- ・日進市を流れ下る天白川は美しく、その源である三本木川や岩藤川は眩いばかりに輝いている。
- ・天白川だけではなく、街の至る所に飲みたくなるような水と、ずっとそこにいたくなるような情景をたたえた水辺がある。



緑

- ・東部丘陵は自然公園として昔と変わらない多様な自然環境を保ち続けている。
- ・日々人の目を楽しませる公園や街路樹など都市の緑は、里山の緑と繋がり、生態系を結び付けるだけでなく、地球温暖化防止にも一役買っている。



まち

- ・住宅街では、親しみのある街並みが昔と変わらず、人々のコミュニティを守り続けている。
- ・人々はマイカー利用を控え、安全な道路を徒歩や自転車で移動し、便利な公共交通機関を使うようになっている。



ライフ スタイル

- ・街並みは変わらずとも、人々の生活様式は20年前と様変わりし、排水への配慮、省エネルギーなど自然にやさしい生活をしている。
- ・街を歩いていても、不法投棄や散乱ごみのない美しいまちになっている。



コミュ ニティ

- ・人々やその活動は、コミュニティでよくまとまり、活発に情報発信している。

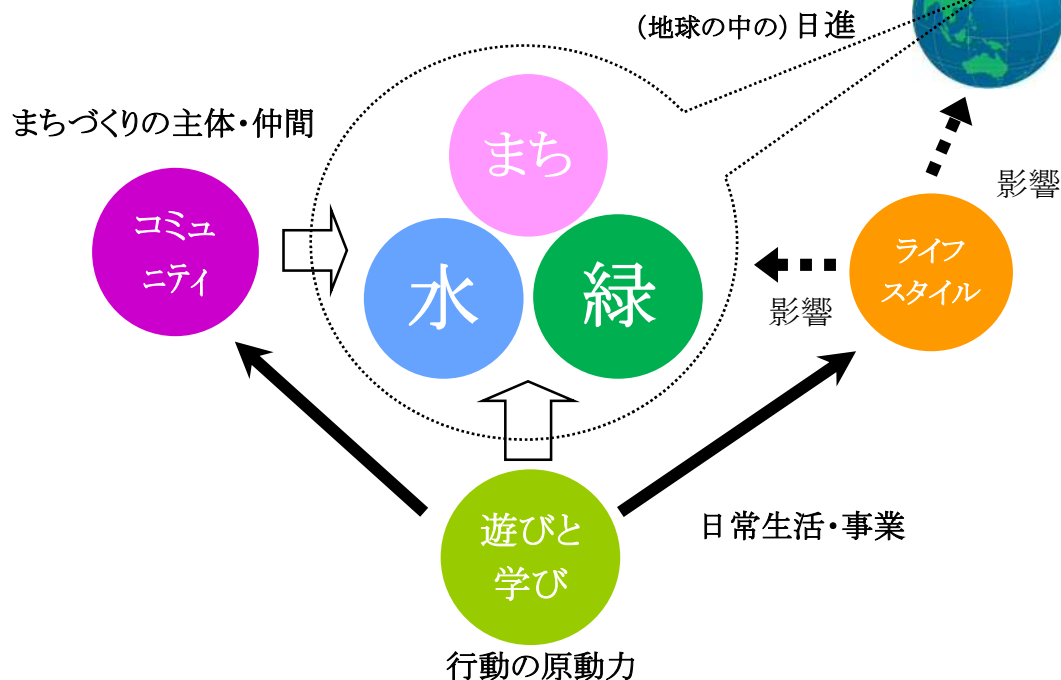


遊びと 学び

- ・自然、環境について学んだり、気づいたりできる楽しいことがたくさん用意されている。



6つのテーマって何だろう？



令和5年度は、第1次環境基本計画の最終年度

▼20年間を振り返って…

第1次環境基本計画は、平成16年度から令和5年度まで、20年間の取組を進めてきました。計画策定を経て生まれた市民団体に加えて、その後も新たな市民団体が生まれるといった好循環をもたらし、今も多くの市民団体が活動をしています。市民活動を活発化する起点となったことは、第1次環境基本計画の大きな成果であったと言えます。

各分野の指標では、達成されていない項目もありますが、到達率で見ると、着実な取り組みの成果として多くの項目で指標が改善しています。

特に、「K. コミュニティ」や「L. 遊びと学び」の分野では、到達率が100%を大きく超えている項目もあり、市民、市民団体、事業者、行政などの多様な主体による連携・協働による環境まちづくりが計画期間を通じて推進されてきた結果であると評価できます。

令和6年3月に策定した第2次環境基本計画では、第1次環境基本計画期間において育まれたにっしんESD事業などの多様な主体との協働による取組などを引き継ぐとともに、課題であった指標設定を妥当性や有効性について十分に検証したものに見直し、施策体系を再構築しています。

持続可能で豊かな環境まちづくりをしていくため、第2次環境基本計画の環境都市像として「日進月歩 住環境と自然が調和するまち にっしん」を掲げ、たゆまぬ“日進月歩”の取組によって、わがまち日進を将来世代にわたって「住環境と自然が調和するまち」にし、だれもが豊かな生活環境を享受し、健やかで心豊かに暮らしていけるまちを目指します。

START

GOAL



2004.4

(H16年度)

2024.3

(R5年度)

環境基本計画



「環境」「基本」「計画」という3つの言葉の組み合わせでできているこの計画

県や市などそれぞれの自治体が独自に作る「自分たちのまちの環境をこんなふうにしていこう！」という基本的かつ重要な行政計画のことです。

計画の経緯

日進市では、平成13～15年度の3年をかけて、市民と市職員との協働で「日進市環境基本計画」をつくりました。

中間の見直し(平成25年度)では、ESD(※P14参照)の推進と多様な組織の参加、連携促進を盛り込んでいます。

水

14 海の豊かさを守ろう



6 安全な水とトイレを世界中に



海洋プラスチックごみ問題

プラスチック製のペットボトルなどは適切な処分がされないことにより、河川から海に流され海洋プラスチックごみになります。そうしたごみが海洋汚染や生態系に影響を及ぼすことが問題視されています。

日進市では小学校の出前授業として、折戸川にホテルを飛ばそう会が、ホテルの生態の学習とともに河川の環境保全の大切さについても学習の機会を与えてくれています。

ポイ捨てを行わないのはもちろんですが、日頃からマイバッグやマイボトルを持ち歩くなど、プラスチックごみを減らす行動が求められます。

[環境課 環境政策係]

TEL:0561-73-2896

水について

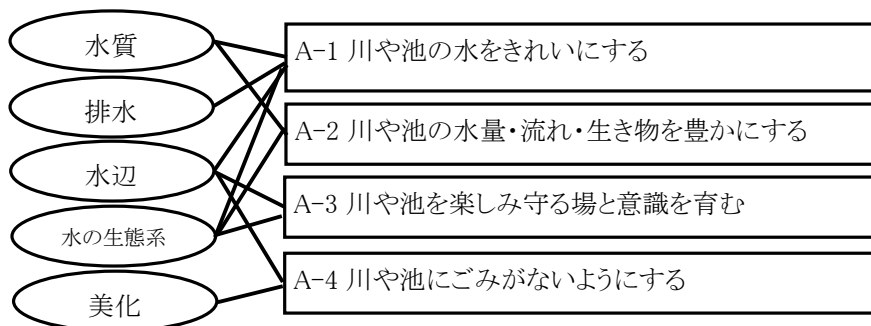
日進で「水」と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、市域を東西に流れる天白川とその支流です。あるのが「当たり前」になっている水ですが、私たちにとってかけがえのない、無くてはならないものです。水は気体や個体などさまざまな形に姿を変え、私たちの生活にかかわっています。そして水は何度も自然の中で循環し、再生を繰り返しています。

きらきら光る水面、そこに映る季節の景色、鳥たちが舞い、魚が躍る、そんな美しい水辺であるように、河川やため池、排水の調査を行うことで川の現状を知り、川がきれいになるにはどうすればよいかを考えていきます。また、市民の憩いの場として、「ふるさと日進」の大切な要素としてまちづくりを活かしていきます。

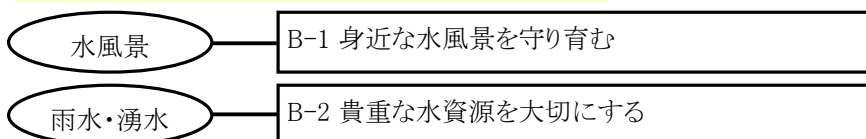


何をするの？

◆ A. 川や池の水と水辺



◆ B. 水の風景・水資源



何をしたの？(R5年度の取り組み＜抜粋＞)

昔は折戸川にたくさんいたというホタルを復活させようという思いで、折戸川にホタルを飛ばそう会のみなさんが、ホタルの飼育・放流活動を続けてきました。今では毎年折戸川にゲンジボタルが育ち舞うようになりました。

今年も折戸川のホタルの里では、同団体の企画によるホタルの鑑賞会や折戸川周辺の清掃活動、ホタルの幼虫の放流などが実施され、参加者は、河川環境の大切さや生物多様性について学びました。



生活排水を考えましょう

川や海の汚れは、台所・洗濯・風呂などの生活雑排水が主な原因となっています。

きれいな水環境を守るためには、日常での生活排水対策や浄化槽を正しく管理することが大切です。

合併浄化槽は、家庭から出る水の汚れの約90%を除去することができます。

単独浄化槽から合併浄化槽へ転換の際には、費用の一部を補助します。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 環境保全係]

TEL:0561-73-2843

どうなったの？

	判断する基準	単位	H24実績	R5実績	長期目標【R5】	到達率※	達成
A1	河川のBOD平均値 (各河川測定地点値)	mg/L	2.8	2.5	5以下	200%	○
	生活排水処理率	%	83	92.0	93	99%	
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	箇所	—	—	10	0%	
A3	水生生物調査延べ参加者数	人	575	1,261	2,000	63%	
A4	河川愛護団体数	団体	10	10	20	50%	
B1	ため池の数	箇所	44	40	現状維持	91%	
	1人1日当たりの水道使用量	L	233	225	210 (10%減)	93%	
B2	浄化槽雨水貯留施設転用補助数(累計)	世帯	75	78	108	72%	

※ 到達率とは、長期目標(R5)に対する実績値(R5)を割合としたもの(次頁以降同じ。)
(実績値(R5)÷長期目標(R5))

緑

15 陸の豊かさも
守ろう

日進市緑の基本計画



2021年（令和3年）3月
日進市

緑の基本計画

本市における緑豊かなまちづくりを市民と協働して進めていくために、緑に関する指針となる計画です。旧計画策定から10年が経ち、計画の満了を迎えるとともに、緑に関する情勢の変化に対応するため、令和2年度に計画の改定を行いました。

「みんなでつくろう 後世まで良質な緑で豊かさを感じられるまち 日進」を基本理念とし、緑の保全・活用・創出・支援に取り組んでいます。

詳しくは、都市計画課までお問い合わせください。

[都市計画課 公園緑地係]

TEL:0561-73-3297

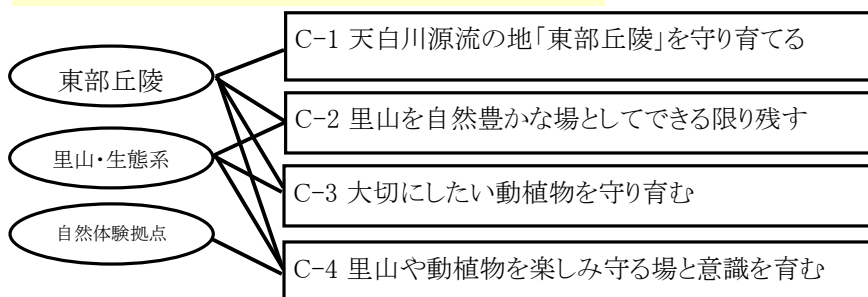
緑について

緑のある風景といえば、里山や田畑など、日本のふるさとの原風景を思い浮かべる人も少なくないでしょう。緑は生き物の命を育み生態系をつなぐ場となっています。また、光合成により二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の抑制にも役立っています。こうした森や緑がなくなるということは、空気やそこで暮らす生物たちのつながりもなくなってしまうことになります。

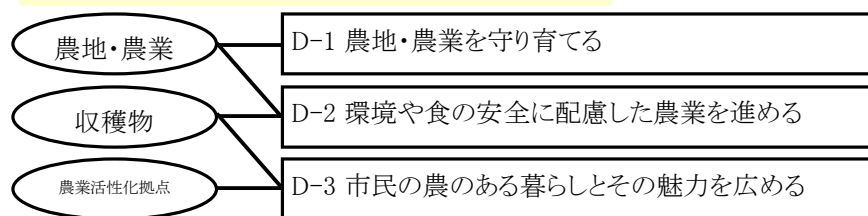
市の東部には、緑豊かな自然が残されています。このような多様な自然環境を守るとともに、人々が自然を感じ学ぶ場所を次の世代へ引き継いでいくこと、また農地・農業にも関心をもち、農業がもっと親しみやすいものとなるよう、地域の農業を活性化し人と緑、人と人を結びつけるようなみどりあふれる豊かなまち、日進を目指しています。

何をするの？

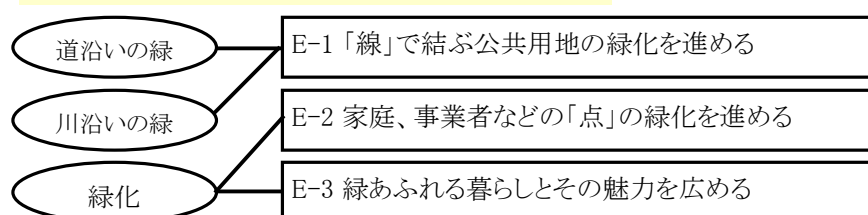
◆ C. 里山と息づく動植物



◆ D. 農のある暮らし



◆ E. 緑のネットワーク



何をしたの？(R5年度の取り組み＜抜粋＞)

日進市の農を盛り上げるため、名古屋学芸大学デザイン学科の学生の協力のもと、市内で多く生産されている野菜や果物を組み合わせて「にっしんそだち」のロゴマークを作成しました。また、地産地消の取組を推進するため、日進を食べる日(10月19日)に、学校給食で日進市産のイチジクやサトイモを使ったメニューを提供しました。



日進市では、緑あふれる暮らしと地域交流を目的に、個人宅などの庭をボランティアで公開する「にっしんオープンガーデン」を開催しています。庭園所有者がそれぞれ趣向を凝らし、丹精込めて育てた花や庭を通じて、交流の輪を広げ、緑あふれる暮らしの魅力を伝えました。

生物多様性

地球上には、3,000万種ともいわれる多様な生き物がいます。

生物多様性とは、いろいろな生き物がお互いつながりあい、支え合って豊かな生態系を築いていることです。

私たちの暮らしは、食料や水、気候の安定など、多様な生物が関わりあう生態系からの恵みによって支えられています。これらの恵みは「生態系サービス」と呼ばれ、「基盤サービス」、「供給サービス」、「文化サービス」、「調整サービス」の4つに分類されます。

将来にわたって生態系サービスを楽しむためには、その源となる生物多様性の保全が重要であるとされています。

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R5実績	長期目標【R5】	到達率	達成
C1	森林面積※	ha	654	609	593以上維持	103%	○
C2	里山保全活動拠点数	箇所	6	6	10	60%	
C3	大清水湿地に発現すると見られる10種の希少種保護数	種	9	9	10	90%	
C4	日進自然遊歩道延長	km	5	6.8	30	23%	
D1	農地面積	ha	470	428	452以上維持	95%	
	休耕田の面積	ha	56	43.0	41	95%	
D2	学校給食における地場産物の使用率	%	57.7	58.7	60	98%	
D3	市民菜園区画数	区画	1,111	1,343	3,000	45%	
E1	緑地率(緑被率)※	%	41	— (30)	39 確保	—	
E2	公園等愛護会活動公園数	箇所	51	62	84	74%	
E3	市民に開放された樹林地箇所数	箇所	14	15	50	30%	

※これまで用いていた緑地率は、市において民間施設緑地率が把握できないことから、緑の基本計画において緑地率の代替として緑被率を用いることとしたことにあわせて、R3から緑被率に変更しました。

まち



新しい移動手段

令和4年4月に策定した「日進市地域公共交通計画」の実現を目指す中、新たな交通手段の確立やスマートシティの実現に向けた取り組みの一環として、フランス製電気自動車を使用した自動運転バスの公道実走実験を実施しています。

また、高齢化の進展が著しい地区や丘陵地に位置する地区、公共交通の利用が困難な地区において、新たな交通手段を確保するため、タクシーを利用した高齢者少量輸送の実証実験を行っています。

これらの取組を通じて、計画に位置付けた事業である「環境にやさしい公共交通を便利に利用できる環境整備の推進」を実施していきます。

まちについて

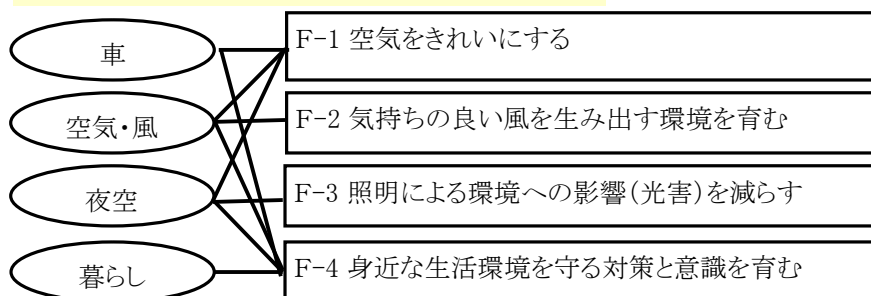
環境には、自然だけではなく、私たちが暮らす場所も含まれています。歴史や文化、住みやすさなど、人が暮らす空間を「まち」ととらえ、暮らしや住環境について考えています。

住環境に目を向けると、地球温暖化の要因の一つである車の排気ガスが問題となっています。そこで、低公害車の普及や公共交通機関の利用を進めることで車中心の生活を見直して、自然と調和した、市民が憩い、歩きながらまちを楽しめる空間を作り出すことを目指しています。

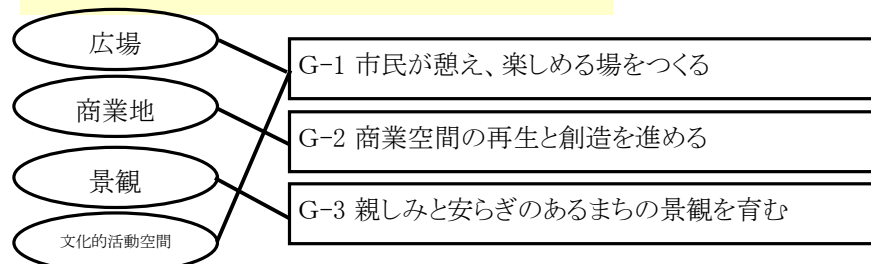
また、昔ながらの建物は今でも人々の手で大切に守られていて、歴史や文化を継承して活かすことにより愛着の持てる、誇りにできる「まち」を創り出すという、環境保全と市街化という、一見矛盾したものを調和させながらまちづくりを進めています。

何をするの？

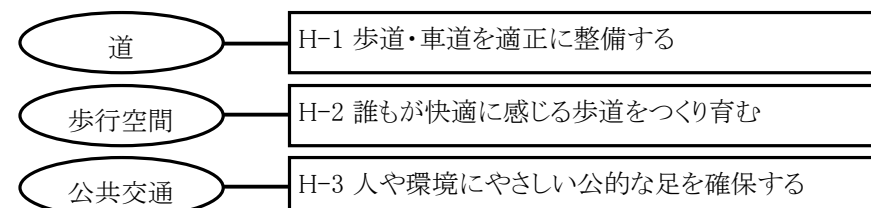
◆ F. 生活環境



◆ G. まちなみ・まちかど



◆ H. みちと足



何をしたの？(R5年度の取り組み＜抜粋＞)

次世代自動車の普及を促進し、自動車からの温室効果ガスの排出量を削減することにより、地球温暖化対策を推進するため、次世代自動車の購入費に対する補助、公用車への電気自動車の導入を行いました。



日進に行って、みて、体験して、共に学び・語り合い、お互いにつながりあえるにっしんの魅力を体験できるプログラムである「まちミル博覧会2023」を実施しました。日進をよく知る個人や団体がパートナーとなってプログラムを企画・運営し、「日進ならではの魅力資源」に光を当てることで、付加価値を高め、参加者に対してこれまで気付かなかった魅力や奥深さ、おもしろさや意外性を実感してもらうことができました。



日進市小規模企業・ 中小企業振興基本条例

この条例は、市の発展に重要な役割を担う小規模企業等がさらに発展していくために、市、事業者、関係機関等が連携して小規模企業等の振興に取り組む姿勢を示すものです。

今後は、この条例に基づき小規模企業等振興施策を策定・実施し、地域経済の発展や市民生活の向上を図ります。

[産業振興課 商工新ビジネス係]

TEL:0561-76-7366

どうなったの？

	判断する基準	単位	H24実績	R5実績	長期目標【R5】	到達率	達成
F1	大気汚染に係る環境基準適合率※	%	100	100	100	100%	○
	エコドライブ宣言者数	人	0	1,104	4,000	28%	
	市所有自動車のエコカー導入率	%	57.8	54	100	54%	
F2	緑のカーテン延べ参加者数	人	558	1,337	2,000	67%	
F3	光害苦情処理件数	件	0	0	0	100%	○
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	件	125	60	113	188%	○
G1	市民一人あたりの公園面積	m ²	9.0	8.4	10	84%	
G2	事業所数	件	2,383	2,078	2,350	88%	
G3	まちなみ保存地区数	地区	0	0	2	0%	
H1	幹線道路の歩道整備率	%	78.3	80.4	85	95%	
H2	道路緑化面積	m ²	24,780	27,518	26,000	106%	○
H3	ぐるりんばすの一日あたり利用者数 (元中央線(名鉄バス)含む)	人	1,404	731 (1,064)	1,600	67%	

※大気汚染に係る環境基準適合率は、浅田町と五色園の大気測定データが環境省の基準を満たしているため達成となっています。

ライフスタイルについて

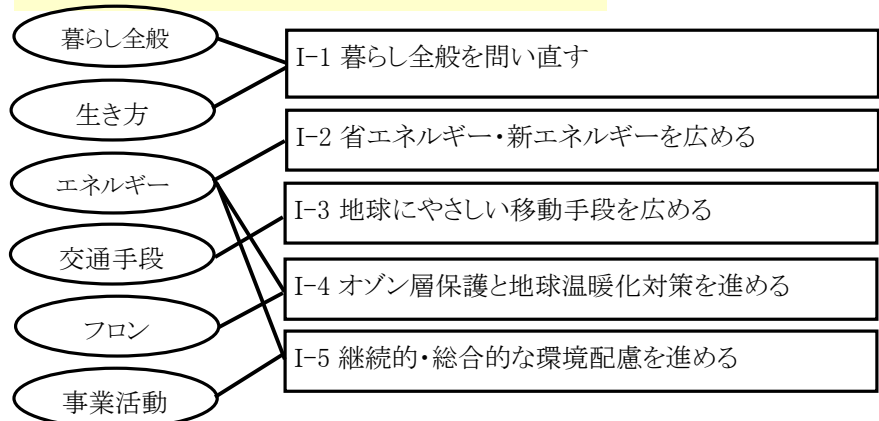
現代の私たちのライフスタイルは、環境に大きく影響を与えます。そして私たちが便利な生活をするほど、地球の環境は悪くなっていきます。そんな私たちの現代的なライフスタイルや考え方を改める必要があるかもしれません。

でも、やっぱり便利でやめられない。なんとかしなくちゃ、そんな想いはあっても、何をすればいいのか分からない。そういう人も多いのではないのでしょうか。市では、地球温暖化やごみ問題などについて、生活しながらできる取り組みを広報、ホームページ、メールマガジン等で情報発信しています。

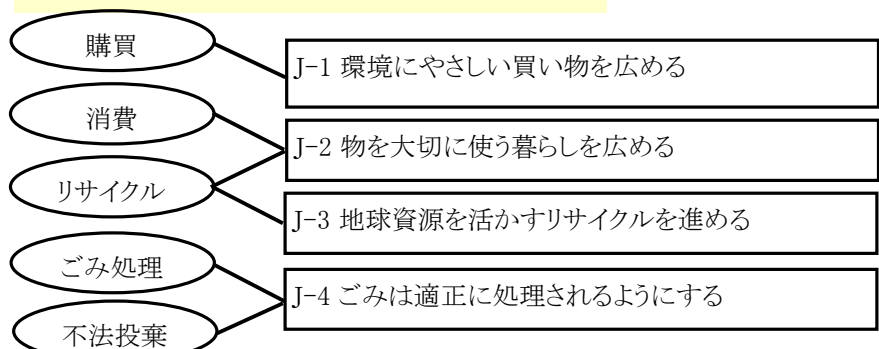
その他にも、情報を伝えられた人の「行動につながる」効果的な情報の一つに口コミがあります。そこで講座やイベントなどの機会を設け、参加者の口から口へと伝わることで、一緒に楽しむ仲間が増え、こころと体にもやさしいエコ生活を始めてもらいたいと考えています。

何をするの？

◆ I. 暮らし全般・エネルギー



◆ J. 生活と廃棄物



ライフ
スタイル

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



デコ活

「デコ活」とは、二酸化炭素を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた言葉です。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を推進するための新しい国民運動により、あらゆる生活場面で豊かで脱炭素に貢献する暮らしを目指します。

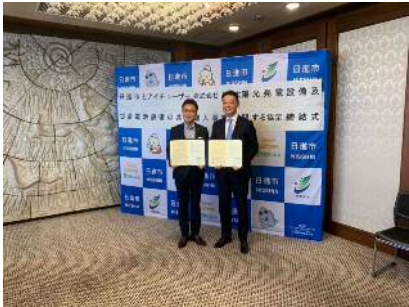
家庭や職場で「デコ活」に取り組み、一人ひとりできることから、地球温暖化の防止にご協力ください。

【デコ活アクション】

デ 電気も省エネ、断熱住宅
コ こだわる楽しさ、エコグッズ
カ 感謝の心 食べ残しゼロ
ツ つながるオフィス テレワーク

何をしたの？(R5年度の取り組み＜抜粋＞)

市域におけるクリーンエネルギー機器の普及拡大を図ることを目的とし、太陽光発電設備などの設置を希望する市民・事業者を募集し、スケールメリットを活かして発注することで、設備導入費用の低減を図る事業を令和6年度から開始するため、アイチューザー株式会社と「太陽光発電設備及び蓄電池設備の共同購入事業に関する協定」を締結しました。



DXを活用したごみの適時・適正な処理を促進するため、オンラインによるごみ収集システムを導入しました。これにより24時間365日スマートフォンやパソコンなどから粗大ごみ収集のオンライン受付ができるようになりました。



日進市一般廃棄物処理基本計画を作成しました

平成28年度の見直しから5年が経過し、ごみ・資源量の現状や社会情勢の変化等に対応するため、日進市一般廃棄物処理基本計画を見直しました。

令和8年度の計画目標達成に向けて、更なるごみの減量、再生利用の促進、最終処分(埋立)量の低減等を目指した取り組みを進めていきます。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

【環境課 資源循環係】

TEL:0561-73-2883

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R5実績	長期目標【R5】	到達率	達成
I1	エコライフ宣言者数	人	0	2,022	3,000	67%	
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	%	4.0	11.5	25	46%	
I3	市内3駅の乗降客数	人	37,590	37,126 (R4実績)	54,000	69%	
I4	市役所環境保全のための行動計画達成率	%	84.1	94.1	100	94%	
I5	ISO取得事業者数 (エコアクション21取得者を含む)	社	21	29	25	116%	○
J1	環境配慮宣言店舗数	店	79	89	向上	113%	○
J2	フリーマーケット開催数	回	1	0	5	0%	
J3	リサイクル率	%	27.2	25.7	28.3	91%	
J4	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	939	775	770	99%	
	不法投棄量	t	43	7	9	129%	○

コミュニティ



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう



にぎわい交流館

にぎわい交流館は、市民自治活動支援の拠点及び国際交流・大学交流の拠点として、また、広く市民の皆様が交流できる場となるよう、平成17年11月に誕生しました。

1階市民サロンは、待ち合わせ、おしゃべり、くるりんばす待ちなど、いつでも気軽にご利用いただけます。また、お昼には、ワンデイシェフによるランチの提供も行っています。

2階では、日進市国際交流協会において、多言語による外国人相談室を開設しているほか、人権・男女共同参画情報コーナーでの関連図書の閲覧や貸し出しも行っています。

ランチの営業日など、詳しくは、にぎわい交流館までお問い合わせください。

[にぎわい交流館]

TEL:0561-75-6650

コミュニティについて

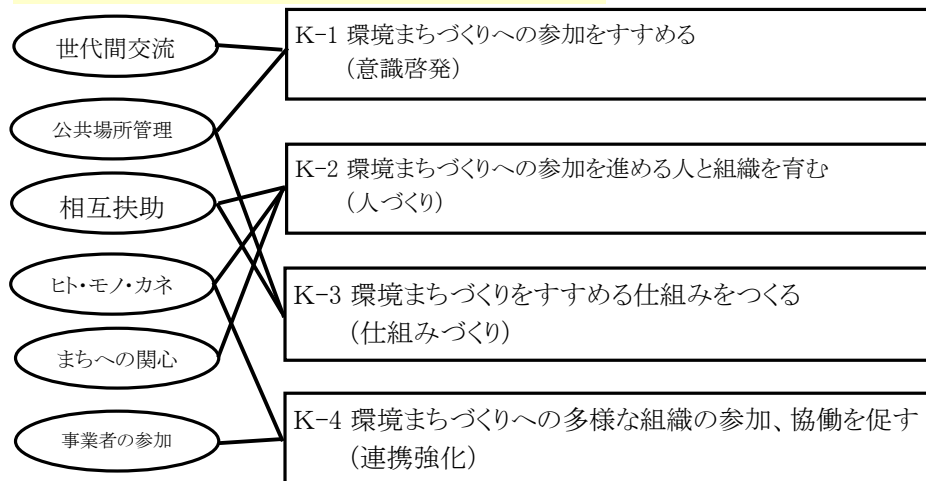
現代環境とコミュニティには、とても深いつながりがあります。コミュニティは人間が「いきる」環境そのもの。コミュニティは、環境まちづくりの大切な要素なのです。

どんなまちづくりも、いちばん大切なのは人と人のつながりというソフト面。素晴らしいハコやキマリができて、そこで暮らす人たちが仲良くいきいきとしていなければ、意味がありません。そのために、環境というどんな立場の人たちにも等しく関わる視点をもって、人と人とのつながりを作って深めていくことが大切なのです。



何をするの？

◆ K. コミュニティ



何をしたの？（R5年度の取り組み＜抜粋＞）

市では、地域の皆さんに公園等愛護会・道路等愛護会やアダプトプログラム制度によるまちづくりへの協力を呼びかけています。

市内にある数多くの公園、道路、河川の維持管理は市が行っていますが、常に良好な状態を保つためには、地域の皆さんの協力がかかせません。公園・道路等愛護会やアダプトプログラムに参加される地域の方々により公園、道路、河川などの清掃、除草、植栽などの活動が日々行われ、ボランティア活動によるまちづくりの輪が広がっています。



日進市環境基本計画

パートナーシップ事業

市民団体の皆様が行う環境活動や環境イベントで、日進市環境基本計画のパートナーとして計画を推進していただける事業やイベントを募集しています。※日進市市民活動団体登録を行っている団体が対象です。

【R5年度実績 5団体5事業】

- ・日進市・ペット共生文化を考える会『飼い主マナーの普及事業』
- ・ワンズパス(one's path)『学用品・食品ゆずりあい』
- ・にっしん市民環境ネット『農育プロジェクト』
- ・天白川で楽しみ隊『天白川で楽しみたい！』
- ・にっしん地域猫の会『猫の譲渡会＆相談会』

【環境課 環境政策係】

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R5実績	長期目標【R5】	到達率	達成
K1	区・自治会加入率	%	71.1	70.2	80	88%	
K2	にぎわい交流館の利用者数	人	35,550	16,887	41,000	41%	
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数※ (環境まちづくりパートナーシップ制度団体数)	団体	— (—)	— (57)	20	285%	○
K4	地域活動参加事業者数	事業者	14	22	20	110%	○

※「環境パートナーシップ協定締結団体数」については「—」となっていますが、代替として環境まちづくりパートナーシップ制度の団体数に統合しています。こちらの団体数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

遊びと 学び



ESDとは？

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略称で、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

日進市では講座などを通して、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。



遊びと学びについて

このテーマでは、ESDの考え方である「人と自然」「人と社会」「人と人」のつながりを大切にし、様々な世代の方に、遊びの中で学びながら環境まちづくりやそれにつながる活動を進める力を身につけてもらい市民全体の環境に対する感性をみがいていきたいと考えています。

代表的な取り組み

にっしんESD講座

日進市で活躍する市民団体と協働で行っている「公募提案型事業」では、環境基本計画の施策に沿った「水・緑・まち・ライフスタイル・その他環境全般に関する環境共育」に関する講座を実施しています。また、その他にも企業と連携した学習講座も多く実施しています。



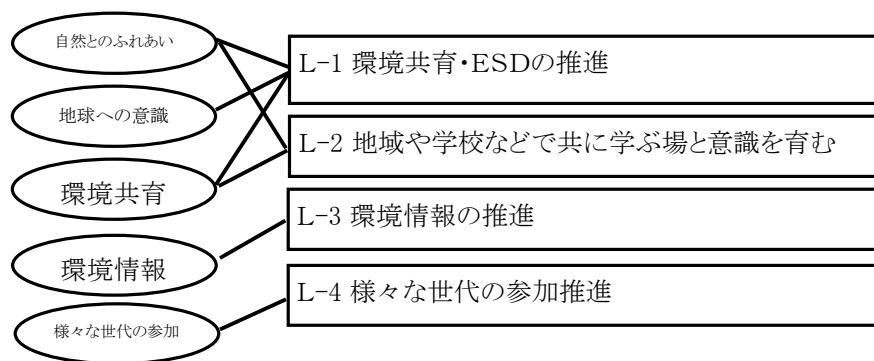
(写真左:「食べ物とごみのさかい目はどこ?～ごみをなくそう大作戦!～」より)



(写真右:「地球温暖化を学ぶ科学実験教室」より)

何をするの？

◆ L. 遊びと学び



何をしたの？(R5年度の取り組み＜抜粋＞)

「持続可能な地域社会づくり」をめざして、『にっしんESD講座』などの環境共育講座を市民団体・企業・地域と協働ですすめています。環境共育では、市の地域資源を活用し、地域を知り、人と人がつながり、課題に取り組んでいくこと、そのために出来ることは何かを考えるきっかけになることを目指しています。全体では、55事業を開催し、1,500人以上の皆さんとつながり、体験することで学びを深めることができました。



(写真左上:「親子里山体験～「里山」ってなに？体験してみよう!!」より)

(写真右上:「渡り蝶、ヘチマを通じて生物多様性を学ぶ」より)

(写真左下:「ホタル舞う環境の街づくり」より)

(写真右下:「有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう」より)

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R5実績	長期目標【R5】	到達率	達成
L1	環境共育講座数	講座	16	62	30	207%	○
L2	環境パートナーシップ事業数	件	4	5	20	25%	
L3	エコフェスタ参加団体数 (H28～わいわいフェスティバルに統合)	団体	31	75 (20)	40	188%	○
L4	こどもエコクラブへの参加こども数※ (環境まちづくりサポーターズこども会員数)	人	106 (一)	7 (552)	300	184%	○

※「こどもエコクラブへの参加こども数」については減っていますが、代替として環境まちづくりサポーターズ制度の会員数に統合しています。こちらの会員数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

持続可能な社会の実現

パリ協定や持続可能な開発目標(SDGs)などを背景として、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)(以下「ESG」という。)の3分野への取組を踏まえた資金の流れが世界的に広がっています。事業者が持続可能性の基盤となるESG要素を取り入れ、環境課題と経済・社会的課題の同時解決に向けた取組を広めていくことで、地域の持続可能な成長につながる事が期待されます。

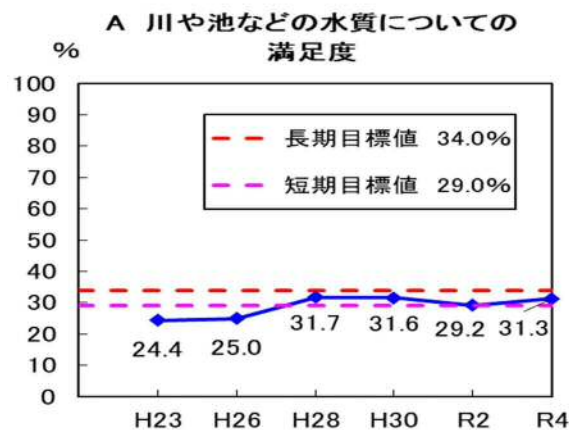
日進市においても、「日進市SDGs推進方針」を策定し、本市の持続可能なまちづくりが一層推進するよう、基本的な考え方、取組姿勢、推進体制を定めています。

市、市民、事業者がそれぞれの立場で課題解決に向けて取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指しましょう。

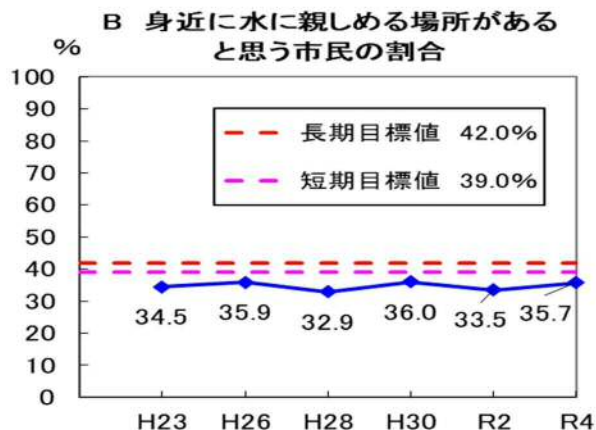
市民意識調査から見た目標に対する達成状況

市民意識調査って何だろう？

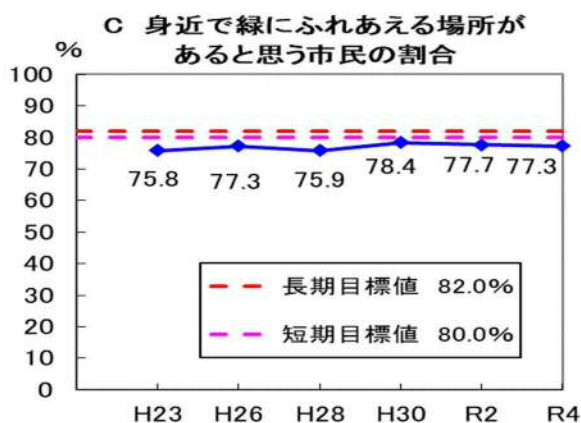
日進市総合計画(※1)に掲げる各施策の進行管理及び評価を行うために、2年に一度を目安として行う調査です。



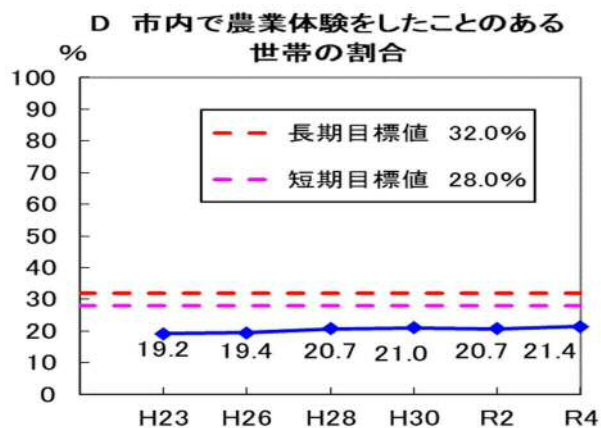
※水環境についての設問です。



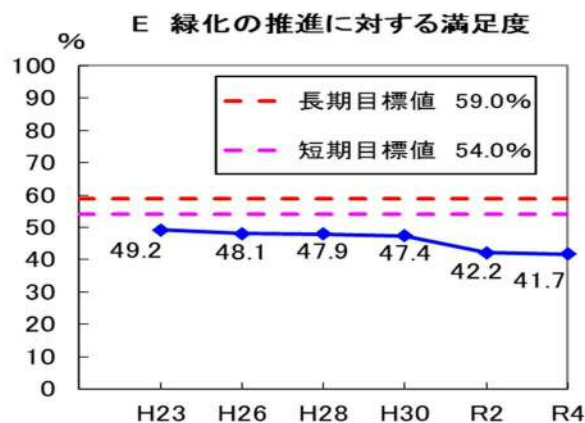
※水辺環境の保全・創出についての設問です。



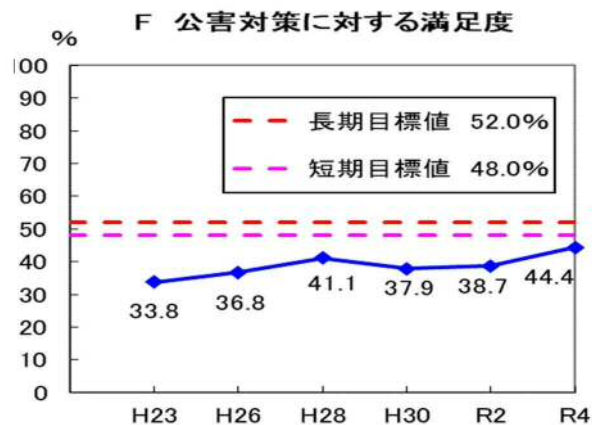
※緑地環境の保全についての設問です。



※市民に親しまれる地産地消・交流型農業の推進についての設問です。



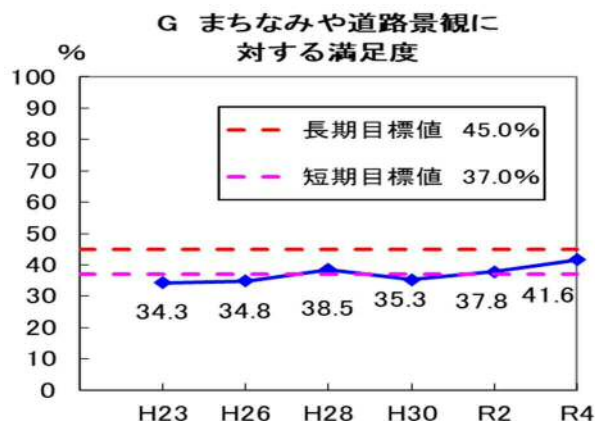
※緑化推進・緑地保全についての設問です。



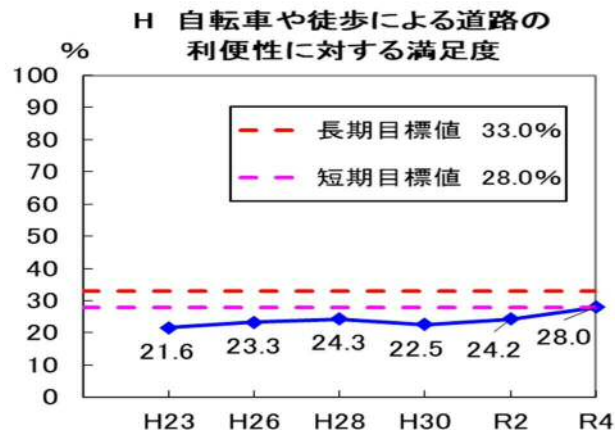
※地域環境の向上についての設問です。

【調査概要】

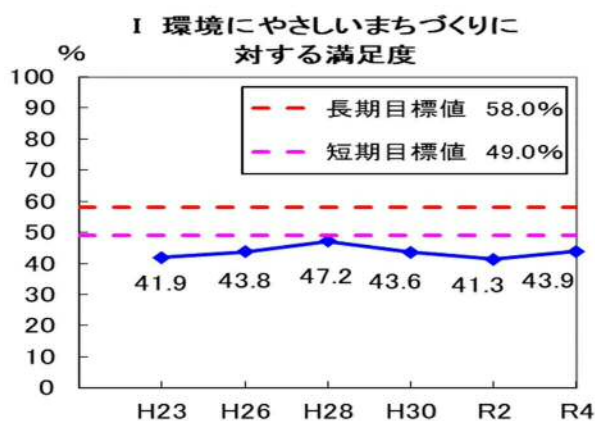
1. 調査対象：日進市在住の18歳以上の方
2. 抽出方法：無作為抽出
3. 調査方法：郵送・インターネット
4. 調査期間：令和4年6月30日～7月19日
5. 配布数：3,000通
6. 有効回答数：1,292通
7. 有効回答率：43.1%



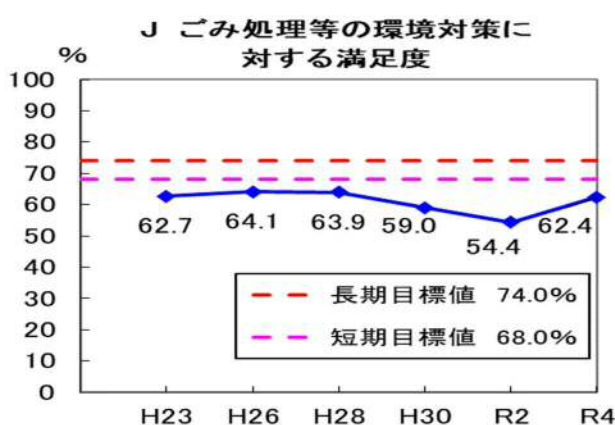
※景観についての設問です。



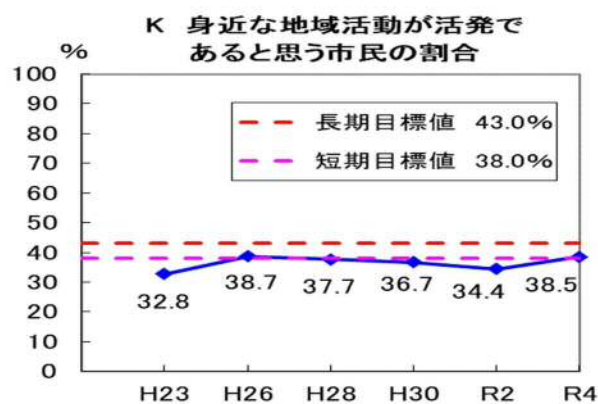
※交通環境整備による安全性の確保についての設問です。



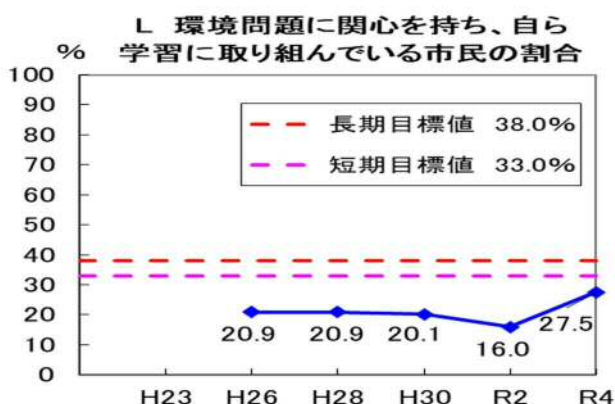
※低炭素社会に向けた取組についての設問です。



※ごみの適正処理と再資源化の推進についての設問です。



※地域コミュニティ活動の活性化支援についての設問です。



※環境意識の向上についての設問です。

※2 各表の割合は、環境や日常生活に関する暮らしやすさの評価の設問において、満足している人の割合です。

※3 「L」にH23の記載が無いのは、H23とH26で質問内容が変わったことにより比較ができないため、この項目に限りH26を基準値としています。

令和6年度から第2次日進市環境基本計画がスタートします！

第1次日進市環境基本計画に引き続き、環境まちづくり施策を総合的で計画的に推進するため、目指すべき環境都市像、施策方針、主な取組等を定めた第2次環境基本計画を策定しました。今までの経験や取組を生かし、市民・事業者等の参加と協力のもと、社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、本計画の環境都市像として設定した「日進月歩 住環境と自然が調和するまち にっしん」を目指していきます。



「日進月歩 住環境と自然が調和するまち にっしん」

本市は、緑豊かで新しい都市近郊の住宅都市として、“日進月歩”で発展してきました。今日の活力や豊かさ、にぎわいを将来にわたって持続させていくためには、「地球規模の視点からグローバルに考えて、ローカルに行動していくこと」が必要不可欠です。また、持続可能で豊かな環境にしていくためには、市民や事業者、行政などが、総ぐるみになってスクラムを組んで、“日進月歩”させていくことが大切です。この、たゆまぬ“日進月歩”の取組によって、わがまち日進を将来世代にわたって「住環境と自然が調和するまち」にし、だれもが豊かな生活環境を享受し、健やかで心豊かに暮らしていけるまちを目指します。

計画の対象とする環境の範囲

計画で対象とする環境の範囲、目標は、次のとおりです。

【環境目標1】脱炭素社会づくり	【環境目標2】循環型社会づくり
1-1.さらなる省エネルギーを進めます。 1-2.再生可能エネルギーの利用を進めます。 1-3.脱炭素型のまちへの転換を進めます。	2-1.ごみの発生を抑えます。 2-2.さらなる再利用・資源化を進めます。
【環境目標3】自然共生社会づくり	【環境目標4】安全が確保される社会づくり
3-1.生態系・生物多様性への関心を高めます。 3-2.水・緑・自然を保全します。	4-1.良好な生活環境を保全します。 4-2.まちの環境美化を進めます。



令和6年10月

発行: 日進市

生活安全部 環境課



住所: 日進市蟹甲町池下268番地

電話: 0561-73-2896

FAX: 0561-72-4603

Email: kankyo@city.nisshin.lg.jp